

授業科目名	看護展開論 I (ナーシングプロセス)	担当教員	◎有家 香、新川 実穂	科目ナンバリング NF254
必修	開講年次：2年前期	単位：2単位	授業形態：講義30時間	

【授業概要】

看護を計画的に立案、実施、評価し、看護の質の向上をはかるため、看護過程について学ぶ。看護過程の構造、看護診断・看護介入分類・看護結果分類、中範囲理論についての理解を深める。また、看護過程において重要な基本的理論について探究する。

【達成目標】

1. 看護過程の概要・構造及び特徴について説明できる。
2. 看護過程に必要な能力について説明できる。
3. 看護過程と理論の関係について説明できる。
4. 看護過程のステップと、看護アセスメントの枠組みについて説明できる。
5. 紙上事例を用いて、情報を分類・整理し、解釈・判断した後に看護上の問題を抽出することができる。
6. 看護過程と看護記録の関係及び記録の重要性について説明できる。

【履修条件】

特になし

【授業計画】

- | | |
|--|---------|
| [01] 看護過程の概要・構造、問題解決過程としての看護過程 | (有家) |
| [02] 看護過程に必要な能力、看護過程への看護理論の応用 | (有家) |
| [03] 看護過程と理論：ヘンダーソン看護論 | (有家) |
| [04] 看護過程と理論：ロイ看護モデル、オレム看護論 | (有家) |
| [05] 看護診断、看護成果・介入分類、看護診断と中範囲理論 | (有家) |
| [06] 看護過程のステップ、看護アセスメントの枠組み | (有家) |
| [07] アセスメントとは、データ収集の方法 | (有家) |
| [08] 看護上の問題の明確化 | (有家) |
| [09] 看護計画、実施、評価 | (有家) |
| [10] アセスメント、看護上の問題の明確化、看護目標及び看護計画立案の実際 | (有家) |
| [11] 看護過程と看護記録：看護記録とは、看護記録の種類、記録システムの型 | (新川) |
| [12] 看護過程と看護記録：電子カルテの実際 | (新川) |
| [13] 看護過程の実際－グループ討議(分析：情報の分類と整理) | (有家・新川) |
| [14] 看護過程の実際－グループ討議(分析：解釈と判断) | (有家・新川) |
| [15] 看護過程の実際－グループ討議(統合：問題・原因・データ不足) | (有家・新川) |

【教科書】

指定なし

【参考書】

1. 渡邊トシ子編集(2011). ヘンダーソン・ゴードンの考えに基づく実践看護アセスメント第3版. NOUVELLE HIROKAWA.
2. 黒田裕子編集(1998). 事例で学ぶ看護過程実践マスター. 日総研.
3. 松木光子編集、休波茂子他(2004). 看護診断・実践・評価の実際. 南江堂.
4. 松木光子編集、休波茂子他(2004). ロイ看護モデルを使った看護の実践第2版. NOUVELLEHIROKAWA.

【評価方法・評価基準】

筆記試験：80%、課題レポートおよびグループ討議：20%

【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：授業時に提示された事前課題の記述を行うこと。

事後学習：講義資料をもとに学習内容の復習、課題の記述を行うこと。

【教育目標(必須要素)との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅱ. 根拠に基づいた看護実践能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

課題レポートについては授業中に傾向について示しフィードバックを行う。グループ討議やその記録については評価し講義終了後に返却予定とする。

【備考】

- ・看護展開論Ⅱ(ヘルスアセスメント)と関連が深く、また全ての看護領域における看護実践の方法論として用いられるための学習を積み重ねていけるように自ら取り組む。